

2016年4月7日

校長 吉田幸一



入学礼拝奨励

I would like to extend my congratulation to all of you entering of Shizuoka Eiwa Girl's Junior and Senior High School. I would also like to congratulate your families who supported you on the journey that brought you here today.

静岡まつりの賑わいの後には、この地にも春の訪れが感じられようになります。駿府城公園の桜は、春を待つ人々の心を和ませ、行き交う人々に笑みを運んでくれます。静岡英和女学院においても、学院の春の訪れを招来する“Maple Concert 2016”も4月23日の開催となり、春本番もすぐそこまで来ている今日この頃です。

中学校入学の許可を得た者76名、高等学校入学の許可を得た者68名、うち新たに高等学校へ入学をした者8名が含まれます。中学校、高等学校へのご入学まことにおめでとうございます。併せて、保護者の皆様に心よりお祝いを申し上げます。今年度の入学試験では、従来を改めた関係もあり、英語特待やスポーツ特待生で入学した者と留学に興味を持って入学した生徒が多く有りました。それぞれの才能と意欲を実現できるよう、学院としてもしっかりとした教育体制を整えます。

129年間、一日も朝の礼拝を欠かすことなく今日に至る長い歴史と伝統を誇る本学院のこの礼拝堂において、ハンドベルの演奏に迎えられ、名前を読み上げられた瞬間から、生徒の皆さんと保護者の皆様は神様からの賛美を受け、これからの生活における豊かな恵みと幸福に導かれます。この時の緊張、胸の高鳴りと心の誓いを忘れずにいてください。

臙脂色のネクタイは「友情と団結を」、セーラー服の三本線は「父と子と聖霊」の三位一体を表し、これを汚すことのないように純白のカラーをかけます。この制服は英和生の象徴と誇りでありますので、制服をきちんと着こなす習慣を早く身につけましょう。このことから真の英和生としてのスタートとなります。

静岡英和女学院で学ぶ6年間あるいは3年間において、一人の生徒として、一人の女性として、何を学び、何を行い、そして、世界市民の一人としてどのように社会、世界と関わっていくのかを考えてほしいと思います。自己の存在意義、価値少し難しいことばになりますが、レゾン・デートルを追求してほしいと考えます。ある時は自ら考え、ある時は先生に教を請い、ある時は友だちに相談し、そしてある時は身近にいる保護者の方と一緒に考え、そして、毎朝の礼拝において神様の御前に誠実に向き合うことから、たえず自分を磨き、自分自身を見つめてください。

次に示す言葉は3月に小学校を卒業した新入生の皆さんには少し難しい言葉になるかもしれませんが、今日自宅に戻ってから、保護者の皆さんと言葉の意味を一緒に考えてみてほしいと思います。

E: Elegance(洗練・優雅)

I: Intelligence (知性)

W: Wisdom (良識・聡明)

A: Ability (才能・能力)

これらを身に付けることで、本学院では「世界に貢献する女性」をめざしていきます。

また、6年間あるいは3年間の学院での共同生活において大切な事柄を4つの言葉で表現してみました。

和：和むこと・調和・チームワーク (Harmony)

敬：敬うこと・先生や保護者を敬う、先輩を敬う (Respect)

清：清い心 (Purity : Puritanにも由来する言葉)

寂：自然体・あるがまま・泰然自若・閑寂枯淡 (Tranquility)

和敬清寂の精神で、クラスメート、先輩後輩そして先生方との良き関係を築いてほしいと思います。

新たに入学した76名と8名の生徒は、一日も早く学院の生活に慣れ、自らの夢と希望に向かって、学院生活を謳歌してほしいと期待しています。また、保護者の皆様には、お子様を本学院に入学させて良かったと思っていただけるよう、教職員一同力を合わせてまいります。

One child, one teacher, one pen and book can change the world.

一人の子ども、一人の先生、一本のペンと本が世界を変えられる。学ぶことの重要性を認識し、充実した学院生活を送ってほしいと期待しています。

ある夜、わたしは夢を見た。わたしは、神様とともに、なぎさを歩いていた。

暗い夜空に、これまでのわたしの人生が映し出された。どの光景にも、砂の上にふたりのあしあとが残されていた。ひとつはわたしのあしあと、もう一つは神様のあしあとであった。これまでの人生の最後の光景が映し出されたとき、わたしは、砂の上のあしあとに目を留めた。そこには一つのあしあとしかなかった。わたしの人生でいちばんつらく、悲しい時だった。このことがいつもわたしの心を乱していたので、わたしはその悩みについて神様にお尋ねした。

「神様。わたしがあなたに従うと決心したとき、あなたは、すべての道において、わたしとともに歩み、わたしと語り合ってくださいと約束されました。それなのに、わたしの人生のいちばんつらい時、ひとりのあしあとしかなかったのです。いちばんあなたを必要としたときに、あなたが、なぜ、わたしを捨てられたのか、わたしにはわかりません。」神様は、ささやかれた。「わたしの大切な子よ。わたしは、あなたを愛している。あなたを決して捨てたりはしない。ましてや、苦しみや試みの時に。あしあとがひとつだったとき、わたしはあなたを背負って歩いていた。」マーガレット・F・パワーズ『あしあと』

お祈りします。はじめての生徒もいると思いますので、手をひざの上に置き、静かに目を閉じてください。保護者の皆様もお願いいたします。ご在天なる父なる神様 今日入学をした生徒とその家族を祝し、これからの歩みの中で片時も離れることなく御守りください。また、良き実りの時を迎えることができますようお導き願います。父と子と聖霊の祝福が皆さんの上にいつも豊かにありますように。この祈りを主イエス・キリストの御名により、御前に御捧げ致します。

アーメン